

【問い合わせ先】  
島根県病害虫防除所 [担当：山本・澤村]  
TEL：0853-22-6904  
FAX：0853-24-3342

## 令和6年度 病害虫発生予察情報 注意報第3号

令和6年9月20日  
島 根 県

ダイズやアブラナ科野菜などでハスモンヨトウ（図1）による被害が多発生することが予想されますので注意報を発表します。現地では発生状況の把握に努め、適切な防除対策を講じてください。

### 記

- 1 病害虫名 ハスモンヨトウ
- 2 発生地域 県内全域
- 3 作物 ダイズ、アブラナ科野菜（キャベツなど）
- 4 発生時期 9月中下旬～
- 5 発生量 多い

### 6 注意報発表の根拠

- 1) 8月下旬における県東部キャベツの巡回調査では、発生ほ場率および寄生株率は平年に比べてやや多かった（表1）。
- 2) 9月中旬における県内キャベツの巡回調査では、県東部での発生ほ場率は62.5%、寄生株率は8.8%、県西部ではそれぞれ80.0%、22.0%であった（表1）。
- 3) 8月下旬におけるダイズの巡回調査では、本種幼虫による1a当たりの白変か所数および発生ほ場率は平年並みであった（表1）。
- 4) 8月第1半旬以降のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、出雲市で156頭（平年625.1頭）、益田市で162頭（平年719.1頭）とやや少ない（図3）。
- 5) 1か月予報（9月19日広島地方気象台発表）によると、向こう1か月の気象は本種の発生に助長的であり、今後さらに被害が増加する恐れがある。

### 7 防除対策および防除上の注意事項

- 1) 本種は上記の作物の他、野菜類、花き類、果樹類、芋類など多くの作物を加害する。
- 2) 施設栽培ではハウスサイド、出入り口、天窓等の開口部に防虫ネットを被覆するなど、成虫の侵入防止に努める。また、本種は卵塊で産卵するため、白変葉等の初期被害を葉ごと切り取り、処分すると寄生密度低減に有効である。
- 3) 老齢幼虫には薬剤の効果が劣るので若齢幼虫期に重点をおいて防除する。

- 4) 薬剤の使用に当たっては、ラベルを確認し、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守する。
- 5) 最新の農薬登録情報は、農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>) で確認する。

## 8 資料



図1 キャベツ葉上のハスモンヨトウ幼虫(左)と卵塊(右上)、成虫(右下)



図2 ダイズの白変葉(幼虫の初期被害)

表1. ハスモンヨトウの発生状況

キャベツ		発生ほ場率 (%)		寄生株率 (%)	
調査時期	調査地域	本年	平年	本年	平年
8月下旬	県東部	<b>50.0</b>	14.4	<b>10.0</b>	1.8
9月中旬	県東部	<b>62.5</b>	-	<b>8.8</b>	-
	県西部	<b>80.0</b>	-	<b>22.0</b>	-

ダイズ		発生ほ場率 (%)		1a当たり白変葉か所数	
調査時期	調査地域	本年	平年	本年	平年
8月中旬	県東部	11.1	-	0.11	-
8月下旬	県東部	36.7	30.7	0.40	0.52
	県西部	52.0	-	0.72	-

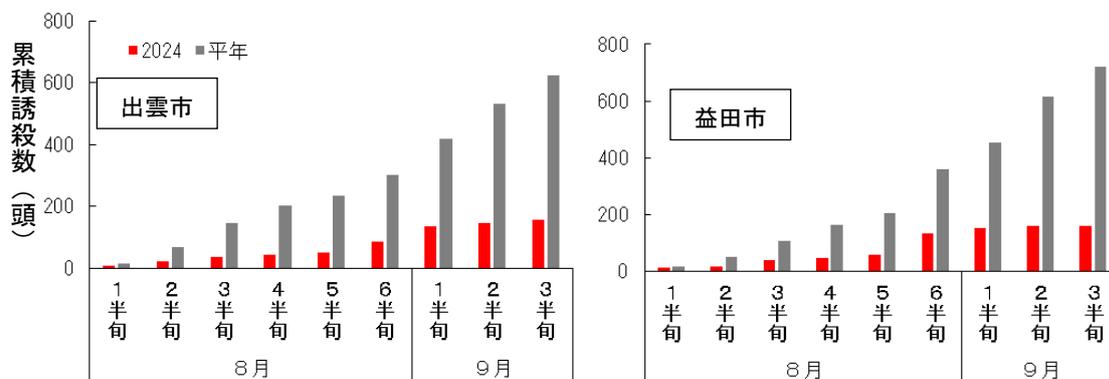


図3 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数